三重サークル例会　　まとめ　　２０２０年2月１日(月)　　９：００～１５：３０頃　　参加者５名

１．国語や図工、合唱の実践報告(記録、映像)

学年	教材	検討内容
６年 ＩＳ 学級	「海の命」(国語)	一場面では、父の言動の“変だ、おかしい”に着目した。子どもたちから５つの問題が出たが、それらの問題を子どもたちと考えていく中で、対立がうまくつくれなかったり、子どもから出た意見に整理するのが難しく感じたりした。検討していく中で、一場面では、１～4 段落に着目し、“太一はどんな人物か”を考えていくことが大切であることが分かった。 子どもの意見に対して、教師はまずキャッチし、その後問い返すことが大切である。
５年 HK 学級	上靴の絵(図工) 音楽会での合唱	線になっているところを、そのまま線にならないように黒く鉛筆で塗りこむ(→面になる)。描く時は、光の当たらないところで描いた方がいい。 合唱の指導をする場合、指導者は楽譜に書かれていることによく注目する必要がある。
２年 ＨＨ 授業	「スーホの白い馬」 (国語)	馬頭琴を作る時や作った後のスーホの気持ちについて考えた。今回飛び入りで２年生の授業に入り、今回の授業を通して、授業前と授業後で自分の考えが変わった子が出てきた。

２．　合同例会に向けて、音読教材の検討

・音読はただ読ませるのではなく、“イメージ”を持たせて読むことが大切である。

・「おーい雲よ」のように、方向性に気をつけて読む(距離感をつかむ)ことが大切である。